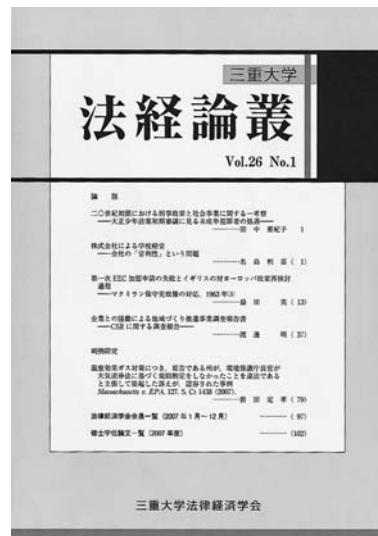


法経論叢総索引（第1巻第1号～第31巻第1号）



『法経論叢』は1984年3月、創刊された。



2008年10月、26巻1号から現在のB5サイズへ変更された。

第1巻第1号（1984年3月）

創刊の辞

論 説

商法監査——営業報告書を中心にして

チェコスロバキアにおける犯罪学的发展と犯罪状況

東海環状テクノベルト計画の理念について

ヨゼフ・ディーツゲンの社会科学・政治・イデオロギー論

1930年代のイギリス綿業（Ⅰ）

研究ノート

三重県における初期民権派の結集過程

紹 介

日本刑法学における犯罪論

三重大学社会科学学会記事

……………伊 藤 達 雄

……………友 杉 芳 正

……………上 野 達 彦

……………伊 藤 達 雄

……………森 田 勉

……………櫻 谷 勝 美

……………西 川 洋

……………上 野 達 彦

第2巻第1号（1984年12月）

論 説

イギリスにおける被扶養者の死後扶養申立

『パクス・ブリタニカ』の外交指導とその精神（一）

1930年代のイギリス綿業（Ⅱ）

……………澤 田 みのり

……………中 西 輝 政

……………櫻 谷 勝 美

ピオントコフスキーの「ヘーゲル刑法論」

——『ヘーゲルの法と国家理論およびその刑法理論』（抜粋試訳）

…………上 野 達 彦

信用金庫取引約定書四条四項の効力

…………西 尾 信 一

経営手法の異文化間移転の一例 フランスにおける QC サークル

…………尼 子 哲 男

内部監査の基本的考察

…………友 杉 芳 正

現代日本経済の理論的分析のための覚書（その1）

——設備投資・技術革新・産業構造の転換——

…………島 津 秀 典

第3巻第1号（1985年11月）

論 説

新パナマ運河条約体制論

…………曾 我 英 雄

イギリスにおける被扶養者の死後扶養申立（二）

…………澤 田 みのり

論 説

監査概念純化のための一考察

…………友 杉 芳 正

現代日本経済の理論的分析のための覚書（その3）

——金融自由化と「財政再建」

…………島 津 秀 典

取引費用の経済理論（I）

…………渡 辺 悌 爾

Introduction et Développement des Cercles de Qualité au Japon

…………René Robin/Tetsuo Amako

第3巻第2号（1986年3月）

論 説

ロレンツ・フォン・シュタインの法哲学

…………森 田 勉

植民地体制とパレスチナ（一）

…………曾 我 英 雄

研究ノート

1887～89年の三重県地域自由民権結社

…………西 川 洋

論 説

1930年代の貿易摩擦——第一次日印会商について——

…………櫻 谷 勝 美

成長経済における租税帰着の分析

…………森 俊 一

資 料

中小会社監査

…………友 杉 芳 正

Cercles de Qualité dans les Banques, Japonaises

…………Tetsuo Amako

第4巻第1号（1986年11月）

論 説

表現内容の規制・内容中立的規制二分論と表現の自由（一）

…………市 川 正 人

植民地体制とパレスチナ（二・完）

…………曾 我 英 雄

翻 訳

ローレンツ・シュタイン 社会の概念と本質（抄訳）

…………森 田 勉訳

資 料

比較犯罪学・比較刑法

——ソビエトの学者による方法論的試み——

…………上 野 達 彦

紹 介

ペーター・ランダウ「ヘーゲルの契約法の基礎」

…………中 舎 寛 樹

論 説

Joseph Alois Schumpeter 経済学の基盤

…………米 川 紀 生

研究ノート

監査・調査・指導

…………友 杉 芳 正

第4巻第2号（1987年3月）

論 説

ローレンツ・シュタインの法概念と法秩序論

…………森 田 勉

行政調査論再考（一）

…………曾 和 俊 文

論説

高度情報社会とシステム監査

…………友 杉 芳 正

資 料

Otto Bauer 生誕百年フェスティヴァル

…………米 川 紀 生

Réflexion sur l'Application en France de la Méthode

d'ApProvisionnement “Just in Time”

…………Patrick le Laouénan/Tetsuo Amako

第5巻第1号（1987年11月）

論 説

「ジェントルマン外交」の伝統形成

——ウィリアム・テンプルに見るイギリス近代外交の精神——（一）

…………中 西 輝 政

表現内容の規制・内容中立的規制二分論と表現の自由（二）

…………市 川 正 人

研究ノート

「刑法典理論モデル」（総則）についての覚書

——ソビエト刑法改正に関連して——

…………上 野 達 彦

翻 訳

ローレンツ・シュタイン 国家ならびに社会の原理（抄訳）

…………森 田 勉

論 説

現代日本経済の国際化についての一考察(1)

——経済摩擦・対外純資産・為替調整

…………島 津 秀 典

新たに発見された J. A. Schumpeter 自筆草稿

『資本主義・社会主義・民主主義』

…………米 川 紀 生

資 料

LES CERCLES DE QUALITÉ AUREZ-VOUS DES YEUX BRIDÉS ?

…………Tetsuo Amako

第5巻第2号（1988年3月）

論 説

- ローレンツ・シュタインの国家・社会学説（一）……………森 田 勉
「二千錠紡績」の苦闘——三重紡績所の場合——……………櫻 谷 勝 美
行政調査論再考（二）……………曾 和 俊 文

資 料

- 新発見の J. A. Schumpeter の自筆草稿……………米 川 紀 生

第6巻第1号（1988年10月）

論 説

- 刑事事件における供述分析について（一）……………平 田 元
——最近の西ドイツの議論を参考にして——……………森 田 勉
ローレンツ・シュタインの国家・社会学説（二・完）……………森 田 勉

論 説

- わが国空港整備政策の展開と課題……………伊 藤 達 雄
——中部新国際空港問題に関連して——……………伊 藤 達 雄

資料紹介

- J. A. Schumpeter の財政政策構想……………米 川 紀 生

第6巻第2号（1989年3月）

論 説

- ソビエト刑法改正と死刑論(1)……………上 野 達 彦

論 説

- Karl Kautsky の「社会化」論……………米 川 紀 生
地代理論とリカードの租税分析……………森 俊 一

研究ノート

- ヨーロッパにおける日系多国籍企業の発展とヨーロッパ人管理職の
職務満足……………尼 子 哲 男

第7巻第1号（1989年11月）

論 説

- 表現内容の規制・内容中立的規制二分論と表現の自由（三・完）……………市 川 正 人
ソビエト刑法改正と死刑論(2)……………上 野 達 彦
最適参入決定モデル……………鈴 木 基 義
——輸出・ライセンス・対外直接投資の選択——……………鈴 木 基 義
経営手法の異文化移転の担い手……………尼子哲男/ルネ・ロバン
大蔵大臣としての Joseph A. Schumpeter の理論と行動……………米 川 紀 生

社会科学学会会員研究業績一覧（1988年度）

第7巻第2号（1990年3月）

論 説

- 内包的地代と課税 森 俊 一
輸出入需要関数の推定 鈴木基義・上山和俊
Bonn における Joseph Alois Schumpeter 米 川 紀 生(55)
時系列モデルのもつ3次キュムラント関数の多様性の可能性 坂 口 文 則

論 説

- 米国国家安全保障会議政策文書 NSC5516/1 について 坂 元 一 哉

第8巻第1号（1990年12月）

論 説

- 戦間期日本の貿易政策 櫻 谷 勝 美

論 説

- J. A. Schumpeter『資本主義・社会主義・民主主義』の準備的考察 米 川 紀 生
アジアの消費革命と流通革命 中 川 多喜雄
プロフェッショナルと組織——「組織化」とその限界 太 田 肇
日本の対外直接投資と外資政策 鈴 木 基 義
社会科学学会会員研究業績一覧（1989年度）

第8巻第2号（1991年3月）

論 説

- ローレンツ・シュタインのプロイセン憲政論 森 田 勉

資料紹介

- J. A. Schumpeter から見た「社会諸科学における合理性の意義」 米 川 紀 生

論 説

- ソビエト刑法改正と死刑論(3) 上 野 達 彦
日本型生産管理システムの国際的普遍性 中 川 多喜雄
非専門職組織におけるプロフェッショナルの価値観・志向 太 田 肇

第9巻第1号（1991年11月）

論 説

- 「池田＝ロバートソン会談」再考 坂 元 一 哉
刑事事件における供述分析について（二）
——最近のドイツの議論を参考にして—— 平 田 元
第一回ソ連人民代議員大会前後のソ連の連邦制再編の問題状況 樹 神 成

翻 訳

- ローレンツ・シュタイン著 プロイセンの憲政問題によせて（抄訳） 森 田 勉

資料紹介

- 戦間期における地方銀行の破綻と再生に関する史料
——四日市銀行の事例—— 櫻 谷 勝 美

論 説	
タイにおける QC サークル	……………中 川 多喜雄
プロフェッショナルのキャリア志向	……………太 田 肇
ドイツにおけるリース取引に対する法的対応 (一)	
——物件引渡のない場合及びサプライヤーの行為についての	
リース業者の責任を中心に——	……………増 成 牧
資 料	
Joseph Alois Julius Schumpeter 関係文献目録	……………米 川 紀 生

第9巻第2号 (1992年3月)

論 説	
ロシアにおける大統領制の意義	
——第5回ロシア人民代議員大会まで——	……………樹 神 成
翻 訳	
ローレンツ・シュタイン著 国民経済教程一講義および	
自分の研究に用いるために—— (抄訳)	……………森 田 勉
論 説	
支出税と富の蓄積	……………森 俊 一
品質管理とアメリカ現地生産	……………中 川 多喜雄
対ラオス外国直接投資	……………鈴 木 基 義
職業としてのプロフェッショナル——QWL の視点からの考察——	……………太 田 肇
研究ノート	
Consumption-loans, capital accumulation and money	……………Akira Yakita
資料紹介	
J. A. Schumpeter に関する三つの回想	……………米 川 紀 生

第10巻第1号 (1992年8月)

西尾信一教授退官記念号

論 説	
法律行為の“無効”について——その内容の多様化と緩和——	……………椿 寿 夫
抵当権者による非正常短期貸借権の排除	……………愼 悌 次
手形授受の当事者間における原因債権の時効消滅を、人的抗弁と	
認めないための一試論	……………菅 野 佳 夫
イギリスにおける「家族の子」からの死後扶養申立	……………澤 田 みのり
錯誤における一部無効——裁判例の検討——	……………中 舎 寛 樹
フランスにおけるエイズ対策と法	……………松 川 正 毅
リース物件に瑕疵ある場合をめぐるドイツの判例・学説 (一)	……………増 成 牧
ローレンツ・シュタインの国民経済社会の概念とその憲政観	……………森 田 勉
1980年代前半の日本経済と銀行資本の蓄積動向	……………島 津 秀 典
タイ企業経営の分析視角	……………中 川 多喜雄
資金フロー法人税とその負担	……………森 俊 一

第10巻第2号（1992年12月）

論 説

- 市立音楽堂の臨時休館と憲法21条……………市 川 正 人
重光訪米と安保改定構想の挫折……………坂 元 一 哉
ローレンツ・シュタインの公民および公民社会の概念と公民的憲政論……………森 田 勉

論 説

- 昭和初期における休業銀行の再建と行政指導
——四日市銀行の再建をめぐって——……………櫻 谷 勝 美
現地調達と系列取引——TQCと国際化——……………中 川 多喜雄
社会科学学会会員研究業績一覧（1991年度）

第11巻第1号（1993年12月）

論 説

- ローレンツ・シュタインの初期の憲法—憲政論の形成……………森 田 勉
リース物件に瑕疵ある場合をめぐるドイツの判例・学説（二）……………増 成 牧
タイ現地系自動車部品企業の品質管理……………中 川 多喜雄

翻 訳

- J. A. シュンペーターの政治活動……………米 川 紀 生
ラオス外国投資法ならびに外国投資法細則〔日本語訳〕……………鈴 木 基 義

第11巻第2号（1996年3月）

森田 勉先生退官記念号

論 説

- ローレンツ・シュタインの中期の憲法憲政論の確立……………森 田 勉
1930年の四日市地域治安維持法違反事件（一）……………西 川 洋
フォード主義国家と役割論
——フレキシブルな社会を展望して——……………岩 本 美砂子
ロシアにおける連邦制再構想の交錯（上）……………樹 神 成

森田勉先生略歴・主要著作目録

- ハブ空港のコンセプトをデンバー新国際空港にみる……………伊 藤 達 雄
マレーシアの日系企業……………櫻 谷 勝 美
EAEC 企業化とアジア社会主義国投資……………中 川 多喜雄
Indirect Integration of the Organization and Individual……………Hajime Ohta

研究ノート

- 「持続可能な発展」と資源管理法：ニュージーランド……………宮 本 忠
社会科学学会会員研究業績一覧（1992年度）

第12巻第1号（1995年1月）

論 説

- ベッカリーアとロシア……………上 野 達 彦

リース物件に瑕疵ある場合をめぐるドイツの判例・学説（三）	……………	増 成 牧
資料紹介		
J. A. シュンペーターのアフォリズム・小説・書簡	……………	米 川 紀 生
論説ノート		
支出税の実際の問題	……………	森 俊 一
日本の品質管理のグローバル化	……………	中 川 多喜雄
研究ノート		
高速交通体系の整備と地域政策に関する覚書		
——(1) 東海道新幹線が名古屋圏に及ぼしたインパクト	……………	伊 藤 達 雄

第12巻第2号（1995年3月）

論 説

1930年の四日市地域治安維持法違反事件（二）	……………	西 川 洋
リース物件に瑕疵ある場合をめぐるドイツの判例・学説（四・完）	……………	増 成 牧
第2次チャーチル政権と西ヨーロッパの統合，1951年-1954年		
——チャーチル，イーデン，マクミランと「大国」イギリスの将来(1)	……………	益 田 実
移転の構図——タイ日系企業従業員アンケートから	……………	中 川 多喜雄
翻 訳		
J. A. Schumpeter の初期の経済学の労作	……………	米 川 紀 生
資 料		
日系自動車企業とアジア諸国の自動車産業育成政策	……………	櫻 谷 勝 美
社会科学学会会員研究業績一覧（1993年1月～12月）		

第13巻第1号（1995年12月）

論 説

公共性論における親密さの意義		
——アンソニー・ギデンズの議論を中心に——	……………	麻 野 雅 子
無権限者による手形行為と表見代理	……………	今 泉 邦 子
ドイツにおける投資勧誘者の説明義務違反について	……………	川 地 宏 行
都市総合計画の体系的立案手法に関する研究		
——三重県津市を事例として——	……………	伊藤達雄・伊藤雅一・津田久孝
シルバービジネスと公的規制		
——ウェルネスからみた医療制度	……………	今尾雅博・上本野唱子
アジアのメディア・ウォーズ	……………	中 川 多喜雄
金融再編成下の都市銀行の対応	……………	野 崎 哲 哉
Civil Rights Acts の誕生——鳥瞰的考察——	……………	藤 井 樹 也
第2次チャーチル政権と西ヨーロッパの統合，1951年-1954年		
——チャーチル，イーデン，マクミランと「大国」イギリスの将来(2)	……………	益 田 実
支出税と移行問題	……………	森 俊 一

翻 訳

シュンペーターの資本主義・社会主義・民主主義

——R. スウェドベリー『ヨゼフ・A. シュンペーター』(1991年)・

第七章より——

……………米 川 紀 生

第13巻第2号(1996年3月)

伊東達雄教授退官記念号

退官記念講演講演

「中部一体化論」とその周辺

——中部圏開発整備法成立から首都機能移転論まで

30年の系譜から——

……………伊 東 達 雄

論 説

大規模小売店舗法と地域商業

……………宮 崎 清

鳥取県東部地域の農村環境の変質

……………市 南 文 一

環境基本法と環境基本条例～構成、前文そして目的

……………宮 本 忠

監査役監査の機能と限界

……………友 杉 芳 正

わが国のサービス・マーケティングの現状と課題

……………今尾雅博・大山淳司

分権化時代の地域政策形成

……………渡 邊 悌 爾

ロシア社会における少年犯罪

……………上 野 達 彦

経営管理システムとしての環境監査

……………中 川 多喜雄

三重県内外2地域間産業連関表の推計とその利用

……………山 田 光 男

Optimal Rule for Public Good Provision and

Intergenerational Income Distribution

……………Akira Yakita

第2次チャーチル政権と西ヨーロッパの統合, 1951年-1954年

——チャーチル, イーデン, マクミランと「大国」イギリスの

将来(3)・(完)

……………益 田 実

Civil Rights Acts の再生——鳥瞰的考察

……………藤 井 樹 也

研究ノート

捕鯨をめぐる文化摩擦

……………東 廉

社会政策の変容とヴィーンの住宅計画

……………米 川 紀 生

中間財における価格差別化と技術選択: Degraha モデルの一般化

……………落 合 隆

伊藤達雄教授著作目録・略歴

社会科学学会会員研究業績一覧(1994年1月～12月)

第14巻第1号(1996年7月)

研究ノート

刑法学と人間——ロシアの刑法学者・タガンツェフの生涯——

……………上 野 達 彦

論 説

CALS と VR——サイバースペース経営の基礎

……………中 川 多喜雄

「自由」に対する「権利」?(1)

——憲法上の自己決定権をめぐる——

……………藤 井 樹 也

1944～51 年にかけてのイギリス、アメリカ両国の西ヨーロッパに おける戦後秩序形成への対応(1)	……………益 田 実
---	------------

第 14 卷第 2 号 (1997 年 2 月)

論 説

「無縁化」と公共性	
——J・ロールズ「原初状態」論の解釈をめぐって——	……………麻 野 雅 子
金融機関の説明義務と融資者責任	……………川 地 宏 行
スイッチング・コスト、費用削減的技術開発、市場構造	……………落 合 隆
不良債権問題と都市銀行の対応 (上)	……………野 崎 哲 哉
「自由」に対する「権利」? (2・完)	
——憲法上の自己決定権をめぐって——	……………藤 井 樹 也
1944～51 年にかけてのイギリス、アメリカ両国の西ヨーロッパに おける戦後秩序形成への対応(2), (完)	……………益 田 実
支出税の国際的諸問題	……………森 俊 一

研究ノート

社会政策の変容とウィーンの住宅計画	……………米 川 紀 生
調査	
中国の外資系企業——96 年 8 月の調査報告——	……………櫻 谷 勝 美
社会科学学会会員研究業績一覧 (1995 年 1 月～12 月)	

第 15 卷第 1 号 (1997 年 8 月)

論 説

融資付投資取引における抗弁の接続 (一)	……………川 地 宏 行
----------------------	--------------

資 料

刑法学と人間(2)——ロシアの刑法学者・タガンツェフの生涯	……………上 野 達 彦
-------------------------------	--------------

論 説

ミネソタ職務満足尺度 (MSQ) 短縮版の検討	
——項目特性の検討および人的資源管理への応用	……………高 橋 弘 司
Civil Rights Acts の一断面—— §1983 訴訟を中心に——	……………藤 井 樹 也
アトリー労働党政権と西ヨーロッパの経済協力問題, 1945 年～ 1949 年(1)	……………益 田 実

研究ノート

気候変動に関する「枠組条約」制度形成についての予備的考察	……………西 村 智 朗
社会科学学会会員研究業績一覧 (1996 年 1 月～12 月)	

第 15 卷第 2 号 (1998 年 2 月)

論 説

手形の流通性の限界——手形抗弁の切断と継承 (一)	……………今 泉 邦 子
融資付投資取引における抗弁の接続 (二・完)	……………川 地 宏 行

資 料

刑法学と人間(3)——ロシアの刑法学者・タガンツェフの生涯……………上 野 達 彦

論 説

排出物除去費用と環境損害に関する非対称情報下における環境政策の

政治経済……………落 合 隆

大分県国東半島地域における工業立地の進展と労働力構造……………鹿 嶋 洋

資本主義の「国際化」と「国民経済」との対立・矛盾についての
一考察(1)

——現代日本経済の「国際競争力」と日本的経営・財政危機・

プラザ合意……………島 津 秀 典

不良債権問題と都市銀行の対応(下)……………野 崎 哲 哉

アトリー労働党政権と西ヨーロッパの経済協力問題, 1945 年～
1949 年(2)……………益 田 実

研究ノート

わが国における健康保険法の成立過程……………米 川 紀 生

第 16 巻第 1 号(1998 年 8 月)

論 説

ドイツ証券取引法における証券会社の情報提供義務……………川 地 宏 行

気候変動問題と地球環境条約システム(一)

——京都議定書を素材として——……………西 村 智 朗

The Short History of the Greatest Clothing Production Area “GIFU”

……………Masahiro Imao

Civil Rights Acts の一断面(2)——§ 1983 訴訟を中心に——

藤 井 樹 也

アトリー労働党政権と西ヨーロッパの経済協力問題, 1945 年～
1949 年(3)……………益 田 実

ニュージーランドの行政改革……………宮 本 忠

研究ノート

地方分権と財政……………森 俊 一

社会科学学会会員研究業績一覧(1997 年 1 月～12 月)

第 16 巻第 2 号(1999 年 3 月)

論 説

手形の流通性の限界——手形抗弁の切断と継承——(二)……………今 泉 邦 子

カード型電子マネーの不正使用と責任分担……………川 地 宏 行

気候変動問題と地球環境条約システム(二・完)

——京都議定書を素材として——……………西 村 智 朗

資本主義の「国際化」と「国民経済」との対立・矛盾についての
一考察(2)

——プラザ合意・円高不況とバブル経済の発生・展開・崩壊——……………島 津 秀 典

組織成員の組織内受診・来談行動阻害要因の分析

——組織内受診・来談行動促進策のための試論——

……………高 橋 弘 司

Civil Rights Acts の一断面(3)—— §1983 訴訟を中心に——

……………藤 井 樹 也

アトリー労働党政権と西ヨーロッパの経済協力問題, 1945 年～
1949 年(4)・(完)

……………益 田 実

第 17 卷第 1 号 (1999 年 8 月)

論 説

ドイツ連邦社会扶助法における公と私の協働の法構造 (一)

——一九八四年改正法までを素材として

……………豊 島 明 子

書 評

上野千鶴子『ナショナリズムとジェンダー』青土社, 一九九八年

……………岩 本 美砂子

論 説

震災ボランティア活動と公共性(1)

……………麻 野 雅 子

ラオス外国投資環境の実態と提言

……………鈴 木 基 義

Civil Rights Acts の一断面(4)—— §1983 訴訟を中心に——

……………藤 井 樹 也

個別ベース営業・投資・財務キャッシュ・フローの情報内容

……………百合草 裕 康

研究ノート

財政と集成的意思決定の理論

……………森 俊 一

社会科学学会会員研究業績一覧 (1998 年 1 月～12 月)

第 17 卷第 2 号 (2000 年 2 月)

論 説

投資勧誘における適合性原則 (一)

……………川 地 宏 行

ドイツ連邦社会扶助法における公と私の協働の法構造 (二)・完

——一九八四年改正法までを素材として——

……………豊 島 明 子

震災ボランティア活動と公共性(2)・完

……………麻 野 雅 子

資本主義の「国際化」と「国民経済」との対立・矛盾についての
一考察 (3・完)

——住専・不良債権・異常円高・産業と雇用の空洞化——

……………島 津 秀 典

メッシナ提案とイギリス

——ヨーロッパ共同市場構想への初期対応決定過程, 1955 年(1)

……………益 田 実

離婚法における「子の養育費」の現状と課題

……………矢 野 篤

業種別キャッシュ・フローの情報内容

……………百合草 裕 康

資 料

資料：中小・中堅企業の経営

——ゴム部品製造業のツーワン(株)社長・前田氏, NC ネットワーク(株)社長・
内原氏, オキツモ(株)・山中氏, 名張 21 世紀ケーブルテレビジョン副社長・
中子氏の講演とその解題——

……………渡 邊 明

第18巻第1号（2000年9月）

論 説

国際協力における双方可罰性の現代的意義について（一）……………洪 恵 子

研究ノート

気候変動条約制度の構築に関する一考察

——京都議定書が残した課題の克服に向けて——……………西 村 智 朗

論 説

需要不確実性と国際寡占市場における環境政策の選択……………落 合 隆

マレーシアにおける日系企業とローカルサプライヤー

——1998・99年の調査——……………櫻 谷 勝 美

ラオス市場経済化支援研修セミナーを評価する（前）……………鈴 木 基 義

Civil Rights Acts の一断面（5・完）——1983訴訟を中心に——……………藤 井 樹 也

メッシナ提案とイギリス

——ヨーロッパ共同市場構想への初期対応決定過程，1955年……………益 田 実

研究ノート

地域産業振興における産業支援施設の役割に関する予備的考察……………鹿 嶋 洋

資 料

資料：中小・中堅企業の経営（その1）……………渡 邊 明

社会科学学会会員研究業績一覧（1999年1月～12月）

第18巻第2号（2001年2月）

論 説

投資勧誘における適合性原則（二）・完……………川 地 宏 行

国際協力における双方可罰性の現代的意義について（二）・完……………洪 恵 子

SEXUALITY and REPRODUCTION in JAPAN……………IWAMOTO Misako

ラオス市場経済化支援研修セミナーを評価する（後）……………鈴 木 基 義

知る「権利」？……………藤 井 樹 也

メッシナ提案とイギリス——ヨーロッパ共同市場構想への初期対応

決定過程，1955年(3)……………益 田 実

資 料

資料：中小・中堅企業の経営（その2）……………渡 邊 明

第19巻第1号（2001年8月）

判例研究

手形要件の記載方法と変造……………中 濱 義 章

論 説

金融システム安定化政策の問題点——「金融不安」と混迷する政策対応……………野 崎 哲 哉

メッシナ提案とイギリス

——ヨーロッパ共同市場構想への初期対応決定過程，1955年（4・完）……………益 田 実

所得課税におけるいくつかの問題

——1955 年王立委員会少数派 (N. カルドア) 意見をめぐって ……………森 俊 一

資 料

「みえベンチャーカレッジ」の講演要旨とアントレプレナー育成へ

向けたテキスト ……………渡 邊 明

社会科学学会会員研究業績一覧 (2000 年 1 月～12 月)

第 19 巻第 2 号 (2002 年 3 月)

平野喜一郎教授退官記念号

論 説

現実分析から理論認識への発展

——専門演習における経済学教育の方法 ……………島 津 秀 典

モンゴルの市場経済化 (上)

……………櫻 谷 勝 美

イギリス福祉国家の再編過程——福祉国家理念の史的考察

……………深 井 英 喜

刑事法学者による「ある」政治体制の総括

——『ソ連における政治裁判』(2000 年) から—— ……………上 野 達 彦

三重県企業の海外立地パターンと立地選定

……………宋軼寅・鹿嶋 洋

資 料

企業経営者の講演

……………渡 邊 明

平野喜一郎教授略歴および研究業績

第 20 巻第 1 号 (2002 年 9 月)

論 説

日本における真実究明と和解のために (一)

——「歴史主体」論争とリベラルな共同体の可能性—— ……………高 橋 秀 治

気候変動条約制度の到達点と残された課題

……………西 村 智 朗

日本の労働市場の構造変化

——情報通信技術と海外生産の進展による影響に関する

実証分析—— ……………森川浩一郎・衛 国紅

研究ノート

わが国における健康保険法の成立過程

……………米 川 紀 生

資 料

経営者の講演 2 ——「Digital University」への道——

……………渡 邊 明

社会科学学会会員研究業績一覧 (2001 年 1 月～12 月)

修士学位論文一覧 (2001 年度)

第 20 巻第 2 号 (2003 年 2 月)

論 説

集团的株式投資における議決権行使

……………瀬 谷 ゆり子

日本における真実究明と和解のために (二・完)

——「歴史主体」論争とリベラルな共同体の可能性—— ……………高 橋 秀 治

わが国地方圏の機械工業地域に関する地理学的研究の動向	……………鹿嶋洋
モンゴルの市場経済化（下）	……………櫻谷勝美
バブル経済崩壊後の金融破綻・財政危機とその政策対応（上）	……………島津秀典
銀行に対する公的規制のあり方	……………野崎哲哉
租税論における所得の概念——ヴィクセルの所説をめぐって——	……………森俊一
サーベイデータをを用いた日本企業の海外直接投資・海外生産に 関する実証分析	……………森川浩一郎
資 料	
ウクライナの新しい刑法典(1)	……………上野達彦

第21巻第1号（2003年8月）

論 説

筆界と所有権界

——取得時効制度の観点から「境界」を考察する……………草野元己

政治哲学としての共同体主義の可能性（一）……………麻野雅子

犯罪の確定についての覚書……………上野達彦

バブル経済崩壊後の金融破綻・財政危機とその政策対応（下）……………島津秀典

資 料

セブ島のIT関連企業調査報告書……………渡邊明

社会科学学会会員研究業績一覧（2002年1月～12月）

修士学位論文一覧（2002年度）

第21巻第2号（2004年3月）

島津秀典教授・宮本忠教授退官記念号

論 説

被害者の自殺事例と不法行為帰責論の今日の展開……………石橋秀起

借家権の相続——「終身借家権」の可能性をめぐって……………草野元己

法・理由・権威——J・ラズの実証主義的法理論に関する一考察……………高橋秀治

教育権論の現代的展開

——今日的「教育改革」とのかかわりで（一）……………寺川史朗

「包括コミュニティの構築～タスマニア大学の教育・

学習・研究環境」……………宮本忠・サバイン植木孝女

日米経済の危機と新自由主義の思想……………平野喜一郎

企業の移動可能性、複占市場、課税競争……………落合隆

マレーシア経済の現段階

——マハティール首相が達成したもの——……………櫻谷勝美

「金融再生」に関する一考察……………野崎哲哉

自由貿易地帯構想とイギリス

——ヨーロッパ共同市場構想への「対抗提案」決定過程，1956年(1)……………益田実

島津秀典教授略歴および主要研究業績

宮本忠教授略歴および主要研究業績

第22巻第1号（2004年9月）

論 説

アイデンティティの社会的承認という問題

——現代日本女性のアイデンティティをめぐる言説を題材に……………麻 野 雅 子
教育権論の現代的展開

——今日的「教育改革」とのかかわりで（二・完）……………寺 川 史 朗

研究ノート

1990年代の三重県における地域別就業構造の変化

——シフトシェア分析を用いて……………鹿嶋 洋・川本英司

講 演

日本経済の歩みと政策科学の展開

——地域経済の構造変化と自立型地域政策の一提案——……………渡 邊 悌 爾

資 料

極東ロシア沿海州の環境汚染・犯罪状況……………上 野 達 彦

社会科学学会会員研究業績一覧（2003年1月～12月）

修士学位論文一覧（2003年度）

第22巻第2号（2005年3月）

論 説

政治哲学としての共同体主義の可能性（二）・完……………麻 野 雅 子
自由貿易地帯構想とイギリス

——ヨーロッパ共同市場構想への「対抗提案」……………益 田 実
決定過程，1956年（2）……………森 俊 一

貯蓄と課税……………豊 福 裕 二

90年代住宅ブームと米国住宅建設業の再編……………伊 藤 睦

証人審問手続きに関わる一考察……………田 中 誠 人

相殺の抗弁に関する一考察——相殺の抗弁と重複訴訟の禁止……………森 久 綱

中小規模農家における畜産物生産と指定配合飼料調達システム……………玉 川 淳

研究ノート

ブラジルの臓器移植法令……………上 野 達 彦

資 料

ハバロフスクにおける2つの国際会議

——犯罪と環境に関する——……………上 野 達 彦

第23巻第1号（2005年9月）

論 説

日本のドメスティック・バイオレンス防止法（2001年）制定をめぐる

政治過程……………岩 本 美砂子

農業生産法人としての株式会社について	
——会社法学の立場からの再検討——	……………名 島 利 喜
現代日本における「金融再生」・「金融改革」に関する批判的検討	……………野 崎 哲 哉
三重ブランドの狙い——神井室長講演と解題——	……………神井弘之・渡邊 明
社会科学学会会員研究業績一覧（2004 年 1 月～12 月）	
修士学位論文一覧（2004 年度）	
第 23 巻第 2 号（2006 年 3 月）	
論 説	
改憲動向における「教育」の処遇に関する一考察	
——教育、宗教、環境の結節点を素材として	……………寺 川 史 朗
三重県内研究開発型企業の現状と課題	……………今 尾 雅 博
自由貿易地帯構想とイギリス	
——ヨーロッパ共同市場構想への「対抗提案」決定過程, 1956 年(3)	……………益 田 実
デカセギ日系ブラジル人と年金制度	
——年金適用に関する基礎的調査の分析を基に	……………玉 川 淳
一部請求論考察	……………田 中 誠 人
第 24 巻第 1 号（2006 年 10 月）	
論 説	
直接投資とホスト国の戦略的輸出政策	……………落 合 隆
水産都市・三重県尾鷲市における就業構造の特性	
——水産業雇用の地域的機能を中心に——	……………鹿 嶋 洋
米国におけるモービルホーム市場の収縮と業界再編	……………豊 福 裕 二
自由貿易地帯構想とイギリス	
——ヨーロッパ共同市場構想への「対抗提案」決定過程, 1956 年(4)	……………益 田 実
「『新しい時代の公』型博物館運営システム」の提案	……………渡 邊 明
総合判例研究	
モニター商法と抗弁の接続	
——抗弁の接続の新たな限界について——	……………都 筑 満 雄
資 料	
マレーシアの日系企業——2006 年 2 月の実態調査	……………櫻 谷 勝 美
社会科学学会会員研究業績一覧（2005 年 1 月～12 月）	
修士学位論文一覧（2005 年度）	

第 24 卷第 2 号 (2007 年 3 月)

西川洋教授退任記念号

論 説

日本における女性政策ナショナルマシナリーの分析：

- 「無私・無謬の官僚」神話と女性政策マシナリーの困難 …………… 岩 本 美砂子
物の利用 (mise à disposition) を伴う役務提供契約の法的構造 …………… 上 井 長 十
教育改革における教育近隣政府の可能性と憲法学の課題 …………… 寺 川 史 朗
株式会社による農業経営——会社法学からのアプローチ …………… 名 島 利 喜

Kyoto Compromise Regime :

- its contents and effects on other internal systems* …………… Tomoaki Nishimura
「チーム法」案騒動後における従業員参加の法的位置づけ
——Crown & Cork Seal 事件を手がかりとして …………… 橋 場 俊 展
自由貿易地帯構想とイギリス
——ヨーロッパ共同市場構想への「対抗提案」決定過程,
1956 年 (5・完) …………… 益 田 実
センサーネットの展開と ITS (Intelligent Transport Systems) …………… 渡 邊 明
西川洋教授略歴および主要研究業績

第 25 卷第 1 号 (2007 年 11 月)

論 説

- 新自由主義のグローバル化 …………… 櫻 谷 勝 美
第一次 EEC 加盟申請の失敗とイギリスの対ヨーロッパ政策再検討過程
——マクミラン保守党政権の対応, 1963 年 (1) …………… 益 田 実
自動車部品事業を通じて学んだリーマン生産の考え方 …………… 村上一仁・渡邊 明

翻 訳

- 避妊, 中絶と社会主義政権 (中東欧・ロシア)
——産児制限のカテゴリー区分と, それらが政治的に意味するもの
……………原著者: ダグ・ステンヴォル/翻訳者: 岩本美砂子

判例研究

- 違法な通達に基づく地方自治法上の消滅時効の主張が信義則に反して
許されないとされた事例 最 3 小判 2007 年 2 月 6 日 (判時 164 号 30 頁)
在ブラジル被爆者健康管理手当等請求事件 …………… 前 田 定 孝

社会科学学会会員研究業績一覧 (2006 年 1 月~12 月)

修士学位論文一覧 (2006 年度)

第 25 卷第 2 号 (2008 年 3 月)

今尾雅博教授退任記念号

論 説

- 二〇〇五年小泉首相の下で実施された衆議院議員選挙における
女性自民党候補の多様性増大について …………… 岩 本 美砂子

第一次 EEC 加盟申請の失敗とイギリスの対ヨーロッパ政策再検討過程	
——マクミラン保守党政権の対応, 1963 年(2)	………益 田 実
カルドアのインド税制改革案における事業利潤の取り扱いと会社課税	………森 俊 一
新自由主義改革下の日本の金融改革	………野 崎 哲 哉
資 料	
百五銀行相談役(元頭取) 川喜田貞久氏講演	
——コーポレート・ガバナンスとは——	………渡 邊 明
今尾雅博教授略歴および主要研究業績	

第 26 巻第 1 号 (2008 年 10 月)

論 説

二〇世紀初頭における刑事政策と社会事業に関する一考察	
——大正少年法案初期審議に見る未成年犯罪者の処遇——	………田 中 亜紀子
株式会社による学校経営——会社の「営利性」という問題	………名 島 利 喜
第一次 EEC 加盟申請の失敗とイギリスの対ヨーロッパ政策再検討過程	
——マクミラン保守党政権の対応, 1963 年(3)	………益 田 実
企業との協働による地域づくり推進事業調査報告書	
——CSR に関する調査報告——	………渡 邊 明

判例研究

温室効果ガス対策につき, 原告である州が, 環境保護庁長官が大気清浄法に	
基づく規則制定をしなかったことを違法であると主張して提起した訴えが,	
認容された事例 <i>Massachusetts v. EPA</i> , 127 S. Ct. 1438 (2007).	………前 田 定 孝
法律経済学会会員一覧 (2007 年 1 月~12 月)	
修士学位論文一覧 (2007 年度)	

第 26 巻第 2 号 (2009 年 3 月)

渡邊明教授退任記念号

論 説

ポピュリズムの経験——その意味と帰結を考える	………麻 野 雅 子
第一次 EEC 加盟申請の失敗とイギリスの対ヨーロッパ政策再検討過程	
——マクミラン保守党政権の対応, 1963 年 (4・完)	………益 田 実
カルドアのインド税制改革案における個人課税	………森 俊 一
現代の金融改革とメガバンクの対応	………野 崎 哲 哉
「高業績パラダイム」の批判的検討	
——Godard & Delaney の所論を中心に——	………橋 場 俊 展
国際寡占市場における環境課税政策: 中央対地方	………落 合 隆
三重大学 MOT の設計思想と MOT 用教科書——文理融合に向けて	………渡 邊 明

資 料

[資料] フランス債務法及び時効法改正草案構想 (avant-projet)	
——カタラ草案——試訳(1)	………上 井 長 十

研究ノート

- 従業員代表制度のあり方——機能と代表者決定方法を中心に……………藤 本 真 理
渡邊明教授主要研究業績

第 27 巻第 1 号（2009 年 10 月）

論 説

- 明治末期から大正期における未成年犯罪者に対する言説に関する一考察……………田 中 亜紀子
食品の機能性表示に関する規制と表現の自由(1)……………玉 川 淳

資 料

- 〔資料〕フランス債務法及び時効法改正草案構想（avant-projet）
——カタラ草案——試訳(2)……………上 井 長 十

法律経済学会会員一覧（2008 年 1 月～12 月）

修士学位論文一覧（2008 年度）

第 27 巻第 2 号（2010 年 3 月）

論 説

- 地域ブランド戦略と地域内連携構築
——三重県地域ブランド戦略と地域活性化の取り組み……………後 藤 基
日本における「外国人問題」と多文化共生理念……………麻 野 雅 子
アメリカ合衆国における教育の地方統制と州関与の在り方
——新自由主義的教育改革への批判的視座——……………寺 川 史 朗
現代日本の金融改革と地域金融機関……………野 崎 哲 哉
株式会社による病院経営——営利と非営利の間……………名 島 利 喜
被害者供述と対質権……………伊 藤 睦
日本植民地期台湾における農村工業の発達と労働供給……………堀 内 義 隆
食品の機能性表示に関する規制と表現の自由（2・完）……………玉 川 淳
Can the Chinese Banking System be Sustainable under the Global
Financial Crisis ?……………Li Xin and Gao Wen

第 28 巻第 1 号（2010 年 10 月）

論 説

- 夫婦の家事・余暇時間に関する分析：「社会生活基本調査」個票を用いて……………水 落 正 明
津市美杉地区における防災体制
——地域防災計画からみた市町村合併の検証——……………前田定孝・瀧谷昌美
アイン・ランドとロシア・ニヒリズム
——ネイティブ・アナーキズムとリバタリアニズムの間で——……………仁井田 崇

資 料

- 〔資料〕フランス債務法及び時効法改正草案構想（avant-projet）
——カタラ草案——試訳(3)……………上 井 長 十

法律経済学会会員一覧（2009年1月～12月）

第28巻第2号（2011年3月）

論 説

株式会社の農業参入問題・再考	……………名 島 利 喜
未成年後見制度改正の方向性——ドイツ法を手がかりにして	……………合 田 篤 子
環境行政上の契約——研究序説	……………前 田 定 孝
児童の権利条約とわが国の少年司法の課題	……………池 田 香緒里
カルドア法人税論再論	……………森 俊 一
GMにおける“My Job Contest”の実施とその管理的意図	……………橋 場 俊 展
税競争における政府の目的	……………川 地 啓 介
A note on group size effects in the private provision of public good:	
Increasing marginal cost, satiation, and weaker-link public good	……………Keisuke Kawachi

資 料

[資料] フランス債務法及び時効法改正草案構想（avant-projet）	
——カタラ草案——試訳（4・完）	……………上 井 長 十

第29巻第1号（2011年10月）

論 説

複眼的比較行政法の必要性と可能性	……………樹 神 成
フランス債務法改正検討作業にみる目的概念について	
——与える、為す、為さざるという分類の考察を中心に——	……………上 井 長 十

判例評釈

給与条例主義と住民訴訟——最2小判平成22年9月10日	……………長谷川裕・前田定孝
-----------------------------	----------------

法律経済学会会員業績一覧（2010年1月～12月）

第29巻第2号（2012年3月）

論 説

金融大再編下の銀行経営——メガバンクの対応を中心に	……………野 崎 哲 哉
農地法の論理と会社法の論理——法律間の連携に対する疑問——	……………名 島 利 喜
大学志願者数と進学者数の差に関する都道府県パネルデータ分析	……………水 落 正 明

資 料

[翻訳] 侵略犯罪に関する「カンパラ合意（Kampala Compromise）」	
……………クラウド・クレス/レオニー・フォン・ホルツェンドルフ 訳 洪 恵子/越智 萌	
明治十五年名古屋監獄署における行刑状況（一）	
——「愛知新聞」掲載 白井菊也「牢獄土産」を主たる手がかりとして——	……………田 中 亜紀子

第30巻第1号（2012年10月）

論 説

技術変化、貿易及び相対賃金	……………落 合 隆
---------------	------------

食品循環資源を活用した飼料自家配合への取り組みと意義	……………森	久	綱
「協定」による行政——法規制の限界と個別合意（上）	……………前	田	定孝
契約不履行に基づく損害賠償と契約（債権）の関係			
——フランス法——	……………白	石	友行
契約不履行に基づく損害賠償の解釈枠組み(1)	……………白	石	友行
看護職員の需要と供給に関する一考察(1)	……………玉	川	淳
三重県における内科の医療体制満足度に関する諸要因の分析			
——特に医療施設の地理的分布と受療行動に着目して——	……………福	本	拓
法律経済学会会員業績一覧（2011 年 1 月～12 月）			

第 30 巻第 2 号（2013 年 3 月）

論 説

明治十五年名古屋監獄署における行刑状況（二・完）

——「愛知新聞」掲載白井菊也「牢獄土産」を主たる手がかりとして——

……………田 中 亜紀子

ワシントン会議とイギリス一九二一～一九二二 九ヵ国条約を中心（一）

……………古 瀬 啓 之

『移民政策，自己選抜及び移民の質』再考

……………落 合 隆

「日本再生戦略」下の日本の金融——『金融戦略』批判

……………野 崎 哲 哉

サブプライムローン融資におけるリスクの重層化

——独立系金融会社を中心に——

……………豊 福 裕 二

税競争における地域間協調と財政移転

……………川 地 啓 介

会社における目的の営利性に関する一考察

——商業登記実務との関連において

……………名 島 利 喜

「協定」による行政——法規制の限界と個別合意（下・完）

……………前 田 定 孝

契約不履行に基づく損害賠償における「賠償」と「履行」の背景(1)

——フランス法——

……………白 石 友 行

契約不履行に基づく損害賠償の解釈枠組み（2・完）

……………白 石 友 行

看護職員の需要と供給に関する一考察（2・完）

……………玉 川 淳

リーマンショック後の EU 競争法の適用と加盟国による金融機関の救済

——TFEU 107 条(3)(b)に基づく国家援助緩和措置と EU 競争法の

理念——

……………佐 藤 智恵子

第 31 巻第 1 号（2013 年 10 月）

論 説

日本災害法研究史（上）

……………前 田 定 孝

情報公開制度の解釈作法

——法人情報の「おそれ」の解釈をめぐって

……………前 田 定 孝

判例研究

「ハムダン対米国事件（いわゆるハムダンⅡ）」米国，コロンビア 特別区控訴裁判所（判決，2012年10月16日）	……………洪	恵子
法律経済学会会員業績一覧（2012年1月～12月）		